

実地研修の進め方（事業所）

実地研修の前にしておくこと

1. 利用者さんのことをよく知っている訪問看護ステーション、または正看護師個人に、実地研修の依頼を行う。
訪問看護ステーション（あるいは正看護師個人）と、謝金を相談して決定し、授受を行う。
2. 書類を準備してポムハウスに申込書と一緒に郵送する。
 - 指示書（医師）コピー
 - 同意書（本人）コピー
 - 計画書（相談の上記入）原本
 - 実施機関承諾書（訪問看護ステーション、あるいは正看護師個人）原本
3. 書類が届いたら、ポムハウスから実地研修手数料の請求書を FAX します。
4. 評価表（9種類）の中から必要な行為を選ぶ。
 - 1-1 口腔内吸引（通常手順）
 - 1-2 口腔内吸引（口鼻マスクによる非侵襲的人工呼吸器療法）
 - 2-1 鼻腔内吸引（通常手順）
 - 2-2 鼻腔内吸引（口鼻マスクによる非侵襲的人工呼吸器療法）
 - 3-1 気管カニューレ内部吸引（通常手順）
 - 3-2 気管カニューレ内部吸引（侵襲的人工呼吸療法）
 - 4-1 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（滴下）
 - 4-2 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（半固形）
 - 5 経鼻経管栄養
5. 評価票の内容を利用者に合わせて変更する。

実地研修の際にすること

6. 経験のある介護職員の手技を見て確認する。
7. まずシミュレータを使って**演習**をして、指導看護師が評価表に記入する。
 - ※利用者の使用しているのと同型のカニューレや胃ろうチューブ、ペットボトル等で制作した簡易なシミュレータを作り、普段使用している機器を利用して行う。

シミュレータの制作方法などは研修テキスト 221～224 頁に、写真付きで掲載

8. 利用者に対して安全に行えると指導看護師が判断したら、**実地研修**を開始する。

○回目、日時を、指導看護師が評価し、評価票に記入する。

・必要な全ての項目について評価

・2回連続して全部ア（合格）の評価となるまで行う。

9. 評価票・報告書（いずれも原本）を、ポムハウスに郵送する。

※事故が発生した場合は、委託を受けた訪問看護ステーション等が責任を持ち、看護師賠償保険を適用
します。

※研修中の事故やヒヤリハットがあれば、ポムハウスまで連絡してください。